第９回農業農村情報研究部会勉強会議事要旨(案)

日時：　平成 18 月 3 月 10 日（金曜日）15:00-17:30
会場：　東大農学部 7 号館 A 棟 7 階 717 号室
出席者（順不同）：大政謙次（東大），大西亮一（日本水土総合研究所），松尾芳雄（愛媛大），増田篤稔（ヤンマー㈱），江原正規（東京工科大学），伊藤良栄（三重大），石山斉（パスコ），杉山武裕（東大院生），溝口　勝（東大），沖　一雄（東大），清水　庸（東大）

１．報告事項

・「農業農村情報の利活用に関する調査検討委託事業の報告書」について, 報告書がまとまった。

・8 月 8 日～10 日に開催される学会大会時の企画セッションの準備状況について，セッションの採用通知が学会から届いた。テーマは,「農業イノベーションと農業農村情報研究」を予定しており，発表者を選定中である。

・事務局の補佐する方を現在，選定中である。

２．勉強会

2.1　水産業における IT 化の事例紹介　増田篤稔氏（ヤンマー㈱ヤンマーマリンファーム）

・ヤンマーが取り組む，水産業における IT 化の事例として,「作り育てる漁業」にて使用されている「機器の稼働状況の監視・可視化・記録」を行うためのハード・ソフトのシステムが紹介された。

・IT 化により，付加価値をつけることができるような仕組み，使い勝手の良いシステムの必要性について，意見があった。

2.2　農薬「ポジティブリスト」導入による農業生産リスク管理ための IT 利用　江原正規氏（東京工科大学）

・残留農薬の検出基準の法制度が変わり（2006 年 5 月施行），規定農薬以外の農薬にも検出基準が設定される。このような社会的背景のなか，農業生産リスク管理のために IT が利用される例として,「食品の生産・流通のトレーサビリティ」の技術システムが紹介された。

３．次回会合

平成 18 年４月 21 日, 15 時～17 時, 東京大学農学部 7 号館 A 棟７階セミナー室を予定している。農業情報分野において，欠けている分野に関連した勉強会を開催する予定。